

## 移動支援事業

### 交通費だけで楽しめるスポットもいっぱい 夏をガイドと一緒に遊びつくそう

5月の利用は55件。ベネッセ・スタードームや神代植物公園、浅草寺、スカイツリーといった定番の人気スポットから、4月に営業開始した新宿の大型バスターミナル・バスタ新宿や通年で一般公開中の迎賓館赤坂離宮など話題の名所まで行先はさまざま。また、ゴールデンウィークということで中郷公園などで行なわれた南大沢フラワーフェスティバルやガーデンシティで開催された多摩センターこどもまつり2016などイベントへの同行依頼もあった。

夏休みに向け多彩な催しものや映画など、これからの時期も楽しみいっぱい。ぜひ出かけてみよう。



① 食べて買い物して1日遊べる恵比寿ガーデンプレイス



東京には無料で楽しめる施設も多い。今回は比較的近場のスポットを紹介しよう。

食べるのが好きな人に大人気の施設が分倍河原駅前から無料バスで行くサントリー武蔵野ビール工場と仙川のキューピー・マヨテラス。馬好きにはJR競馬博物館とJRA馬事公苑がおすすめ。

多摩センターには縄文土器に直接触れられる東京都埋蔵文化財調査センターというもある。

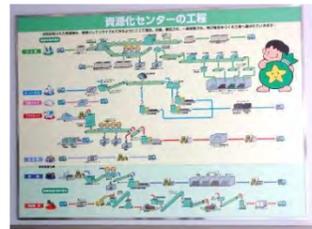
ほかにもいっぱいあるから、自分でも探してみよう。

## 資源化センター事業

### 夏に向けて処理量もアップ 家庭でも減量とリサイクルを

5月の作業実績は13日間でおよそ65時間。総選別量は約988トンで、前月比約9%増となった。

6月に入り不安定な天気が続いている。雨が降ったと思えば次の日はからりと晴れたり、夏日だと思って布団を片づけたら意外と冷え込んだり。体調管理に最も気をを使うのがこの時期。こまめな水分補給で頑張りたい。



① 資源化センターには、公園などで切り取った木の枝を土壌改良材としてリサイクルする施設もある。家庭でも落ち葉などを集めて腐葉土として活用すればゴミの減量にもなる

## 高齢者の話し相手などボランティア募集中

多摩ボランティア・市民活動支援センター(通称・多摩ボラセン)では高齢者の話し相手やレクリエーションを手伝ってくれるボランティアを募集中。期間は7月21日から8月31日まで。対象は小学生以上でシニアの方も大歓迎だ。障がい者施設での日中活動補助や保育園での児童の見守り、ボランティアやNPO団体、コミセンでの仕事もある。

希望者は多摩ボラセンのホームページから申込み用紙をダウンロードし、自分の活動したい施設とスケジュールなどを選び必要事項を記入したうえで参加費を添えて多摩ボラセンの窓口に申込む。小学生から高校生までは保護者の同意書が必要となる。申込み期間は6月22日から7月8日まで。申込み・問合せは聖蹟桜ヶ丘駅前・ヴィータ7階の多摩ボランティア・市民活動支援センターまで。TEL 042-373-6611。

## 加盟団体紹介

アートひまわり  
多摩市南野 3-15-1 総合福祉センター5階 ☎373-8455

NPO法人あしたや共働企画  
多摩市諏訪 5-6-3-101 ☎372-3690

NPO法人暉望(色えんぴつの家)グループ TOMO  
多摩市永山 3-9 ☎372-3382

NPO法人くぬぎ  
多摩市永山 3-9 ☎375-2583

NPO法人どんぐりパン  
多摩市諏訪 5-6-3-105 ☎371-9236

サンクラブ多摩  
多摩市南野 3-15-1 総合福祉センター5階 ☎356-0308

多摩市視覚障害者福祉協会  
多摩市聖ヶ丘 1-28-26-103 ☎372-8051

NPO法人多摩市身体障害者福祉協会

多摩市南野 3-15-1 総合福祉センター3階 ☎338-7009

多摩市手をつなぐ親の会  
多摩市落川 1234-2 ☎371-8809

多摩市聴覚障害者協会  
多摩市聖ヶ丘 1-19-5-201 FAX 372-0939

4 ※の一まの『HOT ほっと』は2014年9月号、本部で発行しておりました『多障協だより』は2014年1月発行の冬号をもって最終号とさせていただきます、2014年9月より2つを統合し『月刊 relier』としてリニューアル発行させていただきます。法人ともども今後ともよろしくお願いいたします

## 多摩市障害者福祉協会



つながりをカに、人と人を結ぶ  
月刊多障協通信 ルリエ



発行：多摩市障害者福祉協会  
多摩市南野 3-15-1 総合福祉センター5階  
障害者団体共用室

☎042-356-0308 FAX042-311-2327  
ホームページ <http://tashokyo.com>

多障協だより  
海や山が恋しい  
ことしも夏が来た号

2016年6月25日発行  
2016年第3巻第6号通巻22号

# relier 7月号

## 目次

### 事業報告

多障協新理事長にアートひまわり・勝手春幸が就任	1
支援センターの一ま	2
障がい者就労支援センター	3
移動支援事業	4
資源化センター事業	4
加盟団体紹介	4
高齢者の話し相手などボランティア募集中	4

### 連載

NEWS	1
今月のひとこと	1
プログラムカレンダー	2
今月のひとこと解説	3
現場からの声	3

## 多障協新理事長にアートひまわり 勝手春幸が就任

今回の理事長就任にあたり、「バイステックの7原則」を改めて思い出した。それは、対人援助にかかわる援助者の行動規範として有名なもので、アメリカの社会福祉学者フェリックス・P・バイステックが定義した相談援助技術の基本となっている。

内容は、1 個別化の原則、2 意図的な感情表現の原則、3 統制された情緒関与の原則、4 受容の原則、5 非審判的態度の原則、6 自己決定の原則、7 秘密保持の原則ですが、ともすれば社会福祉の仕事に携わっている自分を見失い、あらぬ方向に向いてしまう事が多々あります。そんな時にはこの行動規範を念頭に置き、私たち多摩市障害者福祉協会はどこまでも、いつまでも障がいを持つ方々に寄り添っていく支援をしてゆき、地域に貢献したいと思います。

(理事長・勝手春幸)

## 今月のひとこと



今夏のリオデジャネイロ五輪の参加を巡って、右足にカーボン製の義足を付けたドイツの走り幅跳び選手の挑戦を報じる新聞記事に目が惹かれた。

健常者と遜色のない成績を残す彼は、パラリンピックではなくオリンピックへの出場を希望している。昨年出した8m40cmは、同年の世界陸上優勝記録にあと1cmと迫る跳躍だった。五輪出場すれば優勝の可能性が十分ある。パラリンピアンへのオリンピック出場が可能なのか、大変興味深い議論だ。

## NEWS～発達障害者に切れ目ない支援を促す法改正

自閉症や学習障害のある人を支える改正発達障害者支援法が5月25日、衆院本会議で可決、成立した。全ての国民が共生する社会の実現に資することを目的とし、教育や就労支援の充実を図り関係機関等に切れ目ない対応を目指す。教育面では、発達障害児が他の児童と一緒に教育を受けられるように配慮しつつ支援体制の整備その他必要な措置を講じるものとした。就労面では、国及び都道府県が適切な就労機会の確保と定着のための支援に努めるほか、事業主に対しても適正な雇用機会の確保と、個々の特性に応じた雇用管理を求めた。

※『relier』は「つながり」や「結びつき」を表わすフランス語。人と人、地域と地域をつなげることで真の共生をめざしたいという意味を込め、リニューアルした広報誌にこの名前をつけました

コーラス



今年度の、の一ま歌集に追加する曲を募集します。好きな曲や、合唱してみたい曲を講師または職員までお知らせください。  
昨年度は『マイバラード』『さくら(独唱)』など5曲を追加しました。

5月相談件数

内容		相談件数
相談支援	電話	98件
	面接	88件
	訪問	13件
	同行	5件
	連絡調整	41件
フリースペース来所(延べ)	215名	
プログラム参加者(延べ)	107名	
新規登録者	6名	
今年度登録者	138名	

お知らせ

今月の映画会

9日(土)は『インサイドヘッド』を上映します。  
田舎町に暮らす11歳の女の子ライリーは、父親の転勤で都会に移り住むことになる。新しい生活に慣れようとするライリーの頭の中では、ヨロコビ、カナシミ、イカリ、ビビリ、ムカムカたちが、ライリーの幸せのためという強い気持ちが原因で衝突している。



投稿広場  
Nさん作 クロスステッチ作品 『季節の花』

の一まからお知らせ

今年の夏も、猛暑日が続くことが予想され、29℃を超える熱中症のリスクが急増します。  
の一までは暑さ対策の為に冷房を設定し、ゆったりと過ごせるようにフリースペースを開放しますので、外出時の休憩などにぜひ、ご利用ください。

支援センターの一ま開放時間  
祝日除く、火曜日から土曜日  
10:00~17:00まで



◎京王聖蹟桜ヶ丘駅東口から徒歩5分  
九頭竜公園が目印!

日	月	火	水	木	金	土
					1 イブニングタイム 17:45~19:30	2 利用者ミーティング 14:00~15:00
3 休み	4 休み	5	6 SST(固定) 14:00~15:30	7	8 イブニングタイム 17:45~19:30	9 映画会 『インサイドヘッド』 13:30~15:30
10 休み	11 休み	12	13 リラックス体操 14:00~15:00	14	15 イブニングタイム はお休みです	16
17 休み	18 休み	19	20 スタッフ会議 10:00~12:00 SST(自由参加) 14:00~15:30	21	22 イブニングタイム 17:45~19:30	23 コーラス 14:00~15:30
24 休み	25 休み	26	27 リラックス体操 14:00~15:00	28	29	30
31 休み						

働く上での基本スキルはビジネスマナー!!

今年度第2回の生活支援プログラムは「職場におけるビジネスマナー講座」。マヨネーズで有名なキューピーの特例子会社である株式会社キューピーあいの定着支援担当、藤岡氏を講師にビジネスマナーについて勉強した。前年度も同様の研修を行なったが、働く上での基本として繰り返し学習する。ビジネスマナーとは何か、何のために必要なのかということを復習し、お互いが気持ち良く働くために大切なあいさつ、笑顔、言葉遣い、身だしなみを具体的な方法を交えて学習した。実際に声に出し、体を動かして体験をする場面では大きな声や態度から全員が熱心に取り組んでいることが伺えた。また、他の利用者の模擬演技を見てやる気や自分の振り返りにもつながったようだ。日頃から特例子会社で障がいのある従業員に対して指導を行なっている講師ならではの分かりやすさや具体性があり、今後も恒例の講座にしていきたい。

①お辞儀には角度や手の位置も重要。  
シチュエーションに合わせた角度で



①ビジネスマナーを学ぶにあたっての目的を明確に

現場からの 声

働けることに喜びと感謝を!!

製造部門への人材派遣などを行なっている日総工産の特例子会社として平成19年に設立された日総びゅあで今年も『夏の感謝祭』が開かれるというので初日の様子を覗いてみた。会場となる本社ビルは横浜線の新横浜駅から徒歩5分ほどのところにある。入ってすぐに来客者用受付が設けられ、普段は事務や清掃、食品販売などとして働くメンバーのなかから選ばれた数名が来場者への声掛けと誘導に汗をかいていた。すぐ奥では、日ごろ行なっている仕事内容を、パワーポイントを使って説明している。当センターを利用しているメンバーで清掃業務に携わるメンバーは、資料づくりに2週間ほどかけたという。各チーム10分を目安にした業務紹介は、いずれも堂々として自信に満ち溢れている。手話で説明するメンバーもいた。親御さんや特別支援学校の教諭、支援機関職員などでぎっしりと埋まったロビーは、時に笑いに包まれながら、業務の専門性の高さと真摯に取り組む姿勢に圧倒されたような雰囲気だった。ロビーを抜けエレベーターの前を通り過ぎ、一段低くなったスペースでは近隣農家で収穫された野菜や飲料などの販売ブースが設けられていた。ここでも当センター利用者が働いていた。慣れない業務だが、自分たちの仕事ぶりを見てもらえるのはうれしいものだという。今回で9回目となる感謝祭。来年もまた、同じ会場で楽しみたい。

●実績報告●  
5月の実績報告

5月の相談件数は、前年同月比25.7%減の280件。登録者本人からの電話による就労後の相談が最も多かった。

新規登録者は3名。内2名は再支援の希望による再登録。これで登録者数は前年同月比13人増の182人となった。その約9割となる166人が常用雇用で就労している。

新規就職者は4名。内訳は、就労継続A型事業所での軽作業が2名、特例子会社での事務、一般企業での販売・接客がそれぞれ1名ずつであった。

●今月のひと口解説●  
ビジネスマナー編 vol.7  
緊急時の連絡について

通勤途中に突然の事故や交通事情で始業時間に間に合わないことがあります。遅刻をするときは会社へ電話連絡をします。

- ①電話をかけるタイミング  
始業時間10分くらい前に電話をします。乗り物に乗っているときは降りて電話のかけられる場所に移動してから連絡します。
- ②あわてずに用件を簡潔に伝える  
まず自分の部署と名前を伝えます。「おはようございます」とあいさつをして担当者呼び出してもらい遅刻の理由と今いる場所を簡潔に伝えます。

※緊急時には会社の誰に電話をしたらよいかをあらかじめ確認しておくことが大切です。

